

# 令和5年度 大阪府公立学校教員採用選考テスト 第3次選考面接テスト（模擬授業）実施案内

出願の校種等・教科（科目）により、模擬授業の内容が異なりますので、間違いのないようにご確認ください。

## 1 模擬授業の内容について

(1) 受験票に記載されている「校種等・教科（科目）」において、別紙「模擬授業テーマ一覧」の表中に示している「模擬授業の内容」を扱った授業を構想し、その授業を模擬授業として行ってください。

また、次に示す校種等・教科については、別紙「模擬授業テーマ一覧」の表中に示している模擬授業の内容の中から一つを選んで模擬授業を行ってください。

小学校、小中いきいき連携 ⇒ 小学校の国語、社会、算数、理科、英語の中から一つ選択  
中学校社会 ⇒ 地理的分野、歴史的分野、公民的分野の中から一つ選択  
中学校理科 ⇒ 四つの中から一つ選択

(2) 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」の出願者は、別紙「模擬授業テーマ一覧」の表(1)に示している対象校種等の模擬授業の内容で模擬授業を行ってください。

(3) 養護教諭、栄養教諭、支援学校「自立活動（肢体不自由教育）」の出願者は、別紙「模擬授業テーマ一覧」の表(2)のうち【養護教諭、栄養教諭、自立活動（肢体不自由教育）】に示している模擬授業の内容で模擬授業を行ってください。

## 2 実施方法について

(1) 模擬授業の時間は入室から約4分30秒間です（準備等の時間は含みません）。模擬授業は別紙「模擬授業テーマ一覧」の表中に示している「模擬授業の内容」に即して行ってください。

(2) 面接室にはホワイトボード、マーカー（黒・赤・青 各1本）を用意しています。

(3) 模擬授業は、必ずしも授業の“導入”部分から行う必要はありません。途中の“展開”部分や“まとめ”部分から授業を始めても構いません。また、模擬授業は、時間内に授業をまとめる必要はなく、授業内容の途中で終わっても構いません。

(4) 模擬授業の進行上、図や長文などホワイトボードに書くにあたって時間を要するものに関しては、ホワイトボードに書いてあるものと想定して授業を行っても構いません。

(5) 面接員を児童生徒と想定して授業を行ってください。ただし、面接員とのやり取りは一切できません。

(6) 模擬授業に持ち込み可能なものは模擬授業メモ（1枚）（注1）のみです。

※ 模擬授業メモを見ながら授業を行っても構いません。

※ 模擬授業メモは評価の対象とはしません。提出は不要です。

(7) 模擬授業が終了し、片付け（ホワイトボードの文字を消す等）の後、引き続き同じ面接室で個人面接（約 15 分間）を行います。

※ 個人面接で、模擬授業に関して質問する場合があります。

(注 1) 模擬授業メモ

- ・ A4 サイズの用紙に限ります。
- ・ 授業案、板書や授業用のメモなど模擬授業に必要な内容を自由にお書きください。  
また、本や教材などをコピーしたものでも構いません。
- ・ このメモは、受験者自身が見る以外の使用は一切しないでください。

**使用できない例**

- ・ メモを道具と見立てて使う。
- ・ メモを黒板掲示物に見立ててホワイトボードに貼る。
- ・ メモを教材に見立てて提示する。
- ・ メモを教科書に見立てて面接員に見せる。                      など

表（１） 支援学校「幼稚部・小学部共通」・「小学部」・「中学部」・「高等部」

校種等	模 擬 授 業 の 内 容
支援学校 幼稚部・小学部共通、 小学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P84 [生活] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○2段階 (2) 内容 オ 人との関わり (ア) 身近な人を知り、教師の援助を求めながら挨拶や話などをしようとする。
支援学校 中学部	≪ 特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 P184 [職業・家庭] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○2段階 (2) 内容 家庭分野 A 家族・家庭生活 イ 家庭生活と役割 (イ) 家庭生活に必要なことに関して、家族の一員として、自分の果たす役割を考え、表現すること。
支援学校 高等部	≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P234 [職業] 2 各段階の目標及び内容 ≫ ○1段階 (2) 内容 A 職業生活 イ 職業 (ア) 職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ⑦ 職業生活に必要なとされる実践的な知識及び技能を身に付けること。

表（２） 上記（１）以外の受験者  
【小学校・小中いきいき連携】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
小学校 小中いきいき連携	≪ 小学校学習指導要領 P37 国語 [第5学年及び第6学年] 2 内容 ≫ B 書くこと (1) 書くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ウ 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。
※ 国語・社会・算数・理科・英語 から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 小学校学習指導要領 P54 社会 [第5学年] 2 内容 ≫ (2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
	≪ 小学校学習指導要領 P65 算数 [第1学年] 2 内容 ≫ A 数と計算 (1) 数の構成と表し方に関わる数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (キ) 数を、十を単位としてみる。
	≪ 小学校学習指導要領 P96 理科 [第3学年] 2 内容 ≫ A 物質・エネルギー (4) 磁石の性質 磁石の性質について、磁石を身の回りの物に近付けたときの様子に着目して、それらを比較しながら調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 磁石に引き付けられる物と引き付けられない物があること。また、磁石に近付けると磁石になる物があること。
	≪ 小学校学習指導要領 P160 外国語 英語 2 内容 [第5学年及び第6学年] ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 エ 話すこと [発表] (イ) 簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の趣味や得意なことなどを含めた自己紹介をする活動。

【中学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・国語	≪ 中学校学習指導要領 P37 国語 [第3学年] 2 内容 ≫ C 読むこと (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。 エ 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつこと。
中学校・社会  ※ 地理的分野・歴史的分野・公民的分野から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 P42 社会 [地理的分野] 2 内容 ≫ B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境 ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P49 社会 [歴史的分野] 2 内容 ≫ A 歴史との対話 (2) 身近な地域の歴史 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 自らが生活する地域や受け継がれてきた伝統や文化への関心をもって、具体的な事柄との関わりの中で、地域の歴史について調べたり、収集した情報を年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けること。 ≪ 中学校学習指導要領 P58 社会 [公民的分野] 2 内容 ≫ B 私たちと経済 (1) 市場の働きと経済 ア 次のような知識を身に付けること。 (イ) 市場経済の基本的な考え方について理解すること。その際、市場における価格の決めり方や資源の配分について理解すること。
中学校・数学	≪ 中学校学習指導要領 P74 数学 [第3学年] 2 内容 ≫ B 図形 (1) 図形の相似について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解すること。
中学校・理科  ※四つの中から一つ選択して模擬授業を行うこと。	≪ 中学校学習指導要領 P79 理科 [第1分野] 2 内容 ≫ (1) 身近な物理現象 ア 身近な物理現象を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 光と音 ㊦ 音の性質 音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わること及び音の高さや大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだして理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P82 理科 [第1分野] 2 内容 ≫ (4) 化学変化と原子・分子 ア 化学変化を原子や分子のモデルと関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 化学変化と物質の質量 ㊦ 化学変化と質量の保存 化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を行い、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P90 理科 [第2分野] 2 内容 ≫ (5) 生命の連続性 ア 生命の連続性に関する事物・現象の特徴に着目しながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 生物の成長と殖え方 ㊦ 細胞分裂と生物の成長 体細胞分裂の観察を行い、その順序性を見いだして理解するとともに、細胞の分裂と生物の成長とを関連付けて理解すること。 ≪ 中学校学習指導要領 P89 理科 [第2分野] 2 内容 ≫ (2) 大地の成り立ちと変化 ア 大地の成り立ちと変化を地表に見られる様々な事物・現象と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ウ) 火山と地震 ㊦ 火山活動と火成岩 火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けて理解するとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けて理解すること。

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
中学校・音楽	<p>《 中学校学習指導要領 P100 音楽 [第1学年] 2 内容 》</p> <p>A 表現</p> <p>(3) 創作の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>イ 次の(ア)及び(イ)について、表したいイメージと関わらせて理解すること。</p> <p>(ア)音のつながり方の特徴</p> <p>(イ)音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴</p>
中学校・美術	<p>《 中学校学習指導要領 P110 美術 [第2学年及び第3学年] 2 内容 》</p> <p>A 表現</p> <p>(1) 表現の活動を通して、次のとおり発想や構想に関する資質・能力を育成する。</p> <p>イ 伝える、使うなどの目的や機能を考え、デザインや工芸などに表現する活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>(ウ) 使う目的や条件などを基に、使用する者の立場、社会との関わり、機知やユーモアなどから主題を生み出し、使いやすさや機能と美しさなどの調和を総合的に考え、表現の構想を練ること。</p>
中学校・保健体育	<p>《 中学校学習指導要領 P127 保健体育 [保健分野] 2 内容 》</p> <p>(1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。</p> <p>(イ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身に様々な影響を与え、健康を損なう原因となること。また、これらの行為には、個人の心理状態や人間関係、社会環境が影響することから、それぞれの要因に適切に対処する必要があること。</p>
中学校・技術	<p>《 中学校学習指導要領 P133 技術・家庭 [技術分野] 2 内容 》</p> <p>B 生物育成の技術</p> <p>(1) 生活や社会を支える生物育成の技術について調べる活動などを通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 育成する生物の成長、生態の特性等の原理・法則と、育成環境の調節方法等の基礎的な技術の仕組みについて理解すること。</p>
中学校・家庭	<p>《 中学校学習指導要領 P138 技術・家庭 [家庭分野] 2 内容 》</p> <p>B 衣食住の生活</p> <p>(1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(イ) 中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解すること。</p>
中学校・英語	<p>《 中学校学習指導要領 P149 外国語 英語 2 内容 》</p> <p>(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項</p> <p>① 言語活動に関する事項</p> <p>カ 書くこと</p> <p>(イ) 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書く活動。</p>

## 【高等学校】

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・国語	<p>《 高等学校学習指導要領 P43 第5 国語表現 2 内容 》</p> <p>A 話すこと・聞くこと</p> <p>(1) 話すこと・聞くことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>エ 相手の反応に応じて言葉を選んだり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の同意や共感が得られるように表現を工夫すること。</p>
高等学校・地理歴史 (日本史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P64 第4 日本史探究 2 内容 》</p> <p>A 原始・古代の日本と東アジア</p> <p>(2) 歴史資料と原始・古代の展望</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 歴史資料の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現すること。</p>
高等学校・地理歴史 (世界史)	<p>《 高等学校学習指導要領 P73 第5 世界史探究 2 内容 》</p> <p>D 諸地域の結合・変容</p> <p>(2) 世界市場の形成と諸地域の結合</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(イ) 世界市場の形成とアジア諸国の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的な特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・地理歴史 (地理)	≪ 高等学校学習指導要領 P53 第2 地理探究 2 内容 ≫ A 現代世界の系統地理的考察 (4) 人口、都市・村落 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現すること。
高等学校・公民 (政治経済)	≪ 高等学校学習指導要領 P87 第3 政治・経済 2 内容 ≫ A 現代日本における政治・経済の諸課題 (1) 現代日本の政治・経済 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ウ) 現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けること。
高等学校・公民 (倫理)	≪ 高等学校学習指導要領 P85 第2 倫理 2 内容 ≫ B 現代の諸課題と倫理 (2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理 ア 福祉、文化と宗教、平和などについて倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述すること。
高等学校・数学	≪ 高等学校学習指導要領 P92 第1 数学I 2 内容 ≫ (4) データの分析 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその使い方を理解すること。
高等学校・理科 (物理)	≪ 高等学校学習指導要領 P107 第2 物理基礎 2 内容 ≫ (2) 様々な物理現象とエネルギーの利用 ア 様々な物理現象とエネルギーの利用を日常生活や社会と関連付けながら、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 熱 ① 熱の利用 熱に関する実験などを行い、熱の移動及び熱と仕事の変換について理解すること。
高等学校・理科 (化学)	≪ 高等学校学習指導要領 P113 第4 化学基礎 2 内容 ≫ (3) 物質の変化とその利用 ア 物質質量と化学反応式、化学反応、化学が拓く世界について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (ア) 物質質量と化学反応式 ⑦ 物質質量 物質質量と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解すること。
高等学校・理科 (生物)	≪ 高等学校学習指導要領 P120 第7 生物 2 内容 ≫ (1) 生物の進化 ア 生物の進化について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などの技能を身に付けること。 (ア) 生命の起源と細胞の進化 ⑦ 生命の起源と細胞の進化 生命の起源と細胞の進化に関する資料に基づいて、生命の起源に関する考えを理解するとともに、細胞の進化を地球環境の変化と関連付けて理解すること。
高等学校・理科 (地学)	≪ 高等学校学習指導要領 P128 第9 地学 2 内容 ≫ (4) 宇宙の構造 ア 宇宙に関する事物・現象について、次のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けること。 (イ) 恒星と銀河系 ⑦ 恒星の性質と進化 恒星に関する観察、実験などを行い、恒星の性質と進化の特徴を見いだして理解すること。
高等学校・音楽	≪ 高等学校学習指導要領 P142 第1 音楽I 2 内容 ≫ A 表現 (3) 創作 イ 音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。

校種等・教科(科目)	模 擬 授 業 の 内 容
高等学校・美術	≪ 高等学校学習指導要領 P148 第4 美術I 2 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞 イ 生活や社会の中の美術の働きや美術文化についての見方や感じ方を深める鑑賞 (ア) 環境の中に見られる造形的なよさや美しさを感じ取り、自然と美術との関わり、生活や社会を心豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を深めること。
高等学校・書道	≪ 高等学校学習指導要領 P158 第10 書道I 2 内容 ≫ B 鑑賞 (1) 鑑賞 イ 次の(ア)から(イ)までについて理解すること。 (ア) 線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり (イ) 日本及び中国等の文字と書の伝統と文化 (ウ) 漢字の書体の変遷、仮名の成立等 (エ) 書の伝統的な鑑賞の方法や形態
高等学校・保健体育	≪ 高等学校学習指導要領 P134 第1 体育 2 内容 ≫ H 体育理論 (1) スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 (イ) 現代のスポーツは、オリンピックやパラリンピック等の国際大会を通して、国際親善や世界平和に大きな役割を果たし、共生社会の実現にも寄与していること。また、ドーピングは、フェアプレイの精神に反するなど、能力の限界に挑戦するスポーツの文化的価値を失わせること。
高等学校・家庭	≪ 高等学校学習指導要領 P185 第2 家庭総合 2 内容 ≫ A 人の一生と家族・家庭及び福祉 (3) 子供との関わりと保育・福祉 ア 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 乳幼児期の心身の発達と生活、子供の遊びと文化、親の役割と保育、子育て支援について理解を深め、子供の発達に応じて適切に関わるための技能を身に付けること。
高等学校・農業	≪ 高等学校学習指導要領 P221 第18 食品流通 2 内容 ≫ [指導項目] (3) 食品の流通・保管と物流 オ 食品の輸出入
高等学校・工業 (機械)	≪ 高等学校学習指導要領 P244 第4 製図 2 内容 ≫ [指導項目] (1) 製図の役割 ア 製図と規格
高等学校・工業 (電気)	≪ 高等学校学習指導要領 P265 第23 電子計測制御 2 内容 ≫ [指導項目] (2) シーケンス制御 ウ シーケンス制御の回路
高等学校・英語	≪ 高等学校学習指導要領 P166 外国語 第1 英語コミュニケーションI 2 内容 ≫ (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 オ 話すこと [発表] (ア) 身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための多くの時間が確保されたりする状況で、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合ったりする活動。
高等学校・看護	≪ 高等学校学習指導要領 P391 第1 基礎看護 2 内容 ≫ (2) 看護の共通技術 ア コミュニケーション
高等学校・情報	≪ 高等学校学習指導要領 P192 第1 情報I 2 内容 ≫ (4) 情報通信ネットワークとデータの活用 イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (イ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。

【養護教諭、栄養教諭、支援学校・自立活動（肢体不自由教育）】

校種等・教科（科目）	模 擬 授 業 の 内 容
養護教諭	≪ 中学校学習指導要領 P126 保健体育 [保健分野] 2 内容 ≫ (1) 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 ア 健康な生活と疾病の予防について理解を深めること。 (イ) 健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があること。
栄養教諭	≪ 小学校学習指導要領 P137 家庭 [第5学年及び第6学年] 1 内容 ≫ B 衣食住の生活 (3) 栄養を考えた食事 ア 次のような知識を身に付けること。 (ウ) 献立を構成する要素が分かり、1食分の献立作成の方法について理解すること。
自立活動教諭 (肢体不自由教育)	≪ 特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 P199 第7章 自立活動 2 内容 ≫ ≪ 特別支援学校 高等部学習指導要領 P270 第6章 自立活動 第2款 内容 ≫ 2 心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること。

◎ 表中に示されている各学習指導要領とそのページ番号は、以下の文部科学省著作刊行物とそのページ番号を表しています。WEB ページ上ものではありませんので注意してください。

- ・特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領 →  
刊行物名：特別支援学校 幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領（平成 29 年 4 月告示）、  
発行者：海文堂出版株式会社
- ・特別支援学校 高等部学習指導要領 →  
刊行物名：特別支援学校 高等部学習指導要領（平成 31 年 2 月告示）、  
発行者：海文堂出版株式会社
- ・小学校学習指導要領 → 刊行物名：小学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）、発行者：株式会社東洋館出版社
- ・中学校学習指導要領 → 刊行物名：中学校学習指導要領（平成 29 年 3 月告示）、発行者：株式会社東山書房
- ・高等学校学習指導要領 → 刊行物名：高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）、発行者：株式会社東山書房

◎ 模擬授業の内容に関する質問については、お答えできません。